

## ■7月～9月の予定

月	日	曜	内 容	主 催	
7	30	月	<b>講演会</b> (午後 13:30～14:30) 寺泊文化センター(はまなす)	演題「長岡市でめざす地域精神医療と 地域精神保健福祉について(仮)」 講師 心のクリニック ウィズ 所長 後藤雅博氏	長岡市精神障害者 家族会連合会
8	18	土	<b>納涼会</b> (午後 16:00～18:00) のぞみの家駐車場	各施設の自慢料理がいっぱい	3施設合同
9	29	水	<b>講演会</b> (14:00～16:00) ホテルニューオー長岡 NC ホール	特定非営利活動法人 希望の会福祉会 創立7周年記念講演 演題～共生社会の実現を目指して～ 講師 松本ハウス	特定非営利活動法人 希望の会福祉会

## ■トピックス

H30.5.1. ～連合中越 中越労連主催 表彰式が開催されました～  
去る5月1日(火)メーデーで人々が集まる中、メンバー数人と共にアオーレ長岡にて行われた中越労連様主催の表彰式に出席させていただきました。

表彰式では、希望の会福祉会のこれまでの活動が評価され、森田理事長を代表として表彰されました。また、寄贈品については、施設整備改善のために役立てさせていただきたいと思っております。 のぞみの家



## ■インフォメーション

### ■賛助会員入会のおねがい

賛助会員になっていただけませんか。

当法人の活動に興味を持って、賛同して下さる方。ぜひ、入会をお待ちしています。

年会費：一口 3,000 円



### ■長岡しょう油おこわの注文承ります

ご家庭のお祝いごと、ご進物などに「長岡しょう油おこわ」はいかがですか。

インゲン豆・鶏ごぼう・舞茸・五目の4種類を取り揃えて、ご用命をお待ちしています。

ぜひ、一度ご賞味ください。＜詳しくはホームページをご覧ください。電話注文もOKです。＞

### [編集後記]

5月の最終日に希望の会福祉会の第7回総会が開催されました。第7回という響きに感慨深いものを感じます。総会にはどんな資料を準備し、どのように進行するのか不安でいっぱいだった第1回総会が懐かしく思い出されます。回を重ねるごとに資料作り、進行とスムーズに出来るようになりました。総会に参加くださる方々も年々増え、今年の総会は会場が狭く感じるほどでした。ありがとうございました。これから蒸し暑い夏到来ですが、元気に乗り切りたいものです。

編集委員：森田、高橋、矢尾板、小宮、佐藤

2018.7.13 NO.5

NPO 法人 希望の会福祉会

〒940-0061

長岡市城内町 3-5-11

北野ビル 2F

☎0258-89-7883



理事長 森田直子

去る5月31日に第7回特定非営利活動法人希望の会福祉会総会を開催いたしました。

法人の正会員は85名ですが、9割が希望の家・のぞみの家・ふぁーれの利用者です。

毎年、総会では会計をはじめ、事業の報告や今年度の方針等を議案書に基づいて報告、提案をし、会員の意見を聞きます。会員は私たちが提供するサービスのユーザーですから、法人としての姿勢や能力が問われることとなります。ですから、総会は私たちにとって、試練と緊張の場といえます。

今年度も多くの会員の出席を得、議案が承認され、胸を撫で下ろすとともに責任の重さも痛感する次第です。

さて、「共生社会」がうたわれる一方、昨年兵庫、大阪で相次いで、精神疾患がある子供を自宅で長期間にわたり監禁していたという驚愕すべき事件が報道されました。精神に障害を持つ人は、長い間、差別と偏見にさらされ苦難と苦渋に満ちた歴史を辿ってきました。

精神医学者の呉秀三が100年前に「わが邦十何万人の精神病者は実にこの病を受けたるの不幸の他に、この邦に生まれたるの不幸を重塗るものというべし」というあまりにも有名な言葉を残しています。病気を負ったことに加えて、日本に生まれたことがさらなる不幸であると精神医学者は言います。

昭和20年に制定された精神衛生法で私宅監置は廃止されました。

しかしながら、今回のような事件を目の当たりにすると、100年をかけて変わったこと、変わらなかったこと、依然として家族が抱え込み、適切な支援が当事者・家族に届いていない現実があります。自分たちの日常とは、かけ離れた出来事と線を引くことはできません。



変わるべきは社会の在り方か、人の意識か、では、何をどう変えていけばよいのか立ち竦む思いです。

我々も原点に立ち返りながら、地味な実践を積み重ねたいと思います。

会員及び賛助会員の皆様とともに!!

## シンポジウム

### 親亡き後パート3

### ～当事者の声を聴く～

精神障害者家族会希望の会は過去2回にわたり、上記テーマで親亡き後の様々な心配や親あるうちにどう自立させられるか等々、話し合ってきました。

今回は、「当事者の思いや将来の心配、現在の生活など是非聞いてみたい！」という家族の強い希望があり、5名の当事者にお話を伺いました。

・・・Aさん60歳（男性）・・・

アパートで単身生活。日中はふぁーれに行き過ごして、楽しい。苦手な家事はホームヘルパーを利用。昨年脳梗塞になり、足が悪いので外出が少し不自由。将来心配なことは経済的なこと。新聞の購読、野球やサッカーの観戦は続けたいと思う。足が動かなくなったらふぁーれに行けなくなるのが一番心配。

・・・Bさん34歳（女性）・・・

両親と同居。ふぁーれと希望の家を利用。ふぁーれは大事な居場所で、希望の家はおこわ作りなど根気のいる仕事に挑戦。いっぽの会というピアサポートグループで生きづらさを話したりして絆を深めている。親亡き後に備えて頑張っていることは食事づくり。心配なのは金銭管理。自分の自立の考え方は人の力を借りて無理をせず生活すること。

・・・Cさん55歳（男性）・・・

グループホームで生活。日中は希望の家とふぁーれを利用。グループホームは住まいの環境も良く世話人がいて、服薬の確認。味噌汁の作り方や掃除、洗濯やごみの分別なども教えて貰えて助かる。親亡き後は実家の近くにアパートを借りるか、世話人がいて安心なので、グループホームに住み続けるかは、まだ決まっていない。

・・・Dさん30歳（女性）・・・

デイケアで知り合った人と結婚し二人で生活。のぞみの家に通所。家事は夫と分担し、買い物は母親の車で週一回買いため。近所付き合いや地域の活動は苦手だが、近所の方に雪かきなどでお世話になっているので出来るときに恩返しをしたい。親亡き後、精神的な支えを失うことや生きていく知恵を借りられないことが不安。

・・・Eさん41歳（男性）・・・

父と同居。ふぁーれを利用。いっぽの会やサンスマイルのピアサポートグループに参加。毎年夏頃より数か月、季節的な仕事に従事。将来を考えると、経済的自立、身の回りの事、近所付き合いなど課題がたくさんある。が、相談できる場と繋がること、多くの人たちとの交流を大事にしたい。そして、自分が高齢者になったとき、ふぁーれに通えるか心配。



4月から希望の家で働かせていただいている山田彩未(やまだあやみ)と申します。まだまだ、不慣れなところが多々ありますが、自分自身、細かい作業が好きなので、メンバーさんと楽しくお話をしながら精一杯頑張ってお参りたいと思っています。ご指導をよろしくお願い致します。趣味は、おいしいものを食べることです。動物が大好きで家で犬を飼っています。

イラスト ふぁーれ池津さん

## 3 施設合同行事 日帰りバス旅行 in 山形

H30.6.15 ～希望の会福祉会 法人バス旅行に参加してみても～

自分が希望した行き先ではなかったものの、米沢牛の串焼きを食べてとても美味しかったし、上杉城の歴史を知ることができたのは良かった。

のぞみの家 Oさん



山形は以前に訪れたことはあったが、山形名物の芋煮を食べたのは初めてでとても美味しかった。

さくらんぼ狩りも初めて経験することができてよかった。

のぞみの家 幹事Iさん

行き帰りにインターで、アイスや鮎の塩焼きを食べたり、ごちそうを食べたり、さくらんぼも15個食べました。芋煮が美味しかったことと、さくらんぼやクッキーのおみやげもたくさん買って楽しかったです。来年も行きたいです。

ふぁーれ利用者 ミツ木さん



暑くもなく寒くもない気候と平日のせいか名所も道路も空いていて、絶好の旅行日和。車窓からの景色も初夏の緑が濃くて、とてもきれいだった。

一番印象に残ったのは、上杉神社。こじんまりとした中にも由緒ある佇まいが心に残った。

昼食の山形名物の芋煮は、味がしっかりしみていて、豚しゃぶと共に満足の美味しさだった。

メインのさくらんぼ狩りは、農園の方やバスの添乗員さんが親切に梯子をかけて、木の上にある大きくて赤い実を取って下さったので、たくさん食べることができた。

(赤くてキラキラしたさくらんぼは最高!)

山形は、遠いので体調の心配もしたが、車中隣同士で話に花が咲いて、いろんな話のできたので、道中は、それほど長く感じずに過ごせた。

今回の旅行で遠出することに少し自信もついて、楽しい旅になった。

計画してくださったみなさんに感謝!

希望の家 Mさん

